



農林大学校の動き(R2年6月)

2020. 7. 20

島根県立農林大学校 (担当:農業教育部 三宅)

TEL:0854-85-7012 FAX:0854-85-7113

<http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します。



○オープンキャンパス参加者募集

8/16、8/22、8/29、9/5 に開催するオープンキャンパス「緑の学園」の参加者を募集(農林大 HP 掲載)

○新規就農者等を対象とした「農業入門実践研修」が開講(6/9)

有機農業 8 名、野菜 5 名、果樹 9 名の研修がそれぞれスタート。農業入門実践研修は、毎月第 2・第 4 火曜日に開催予定(計 17 回)。



○アグリビジネス加工研修(6/11、12)

1 年生 31 名が 2 班に分かれて、農産加工実習を行った。野菜専攻産の冷凍保存していたイチゴでジャムを作り瓶詰め。おにぎらず、かき玉汁、キュウリの和え物も作りランチを楽しんだ。



○卒業論文課題発表会(6/11、12)

農業科 2 年生 28 名がそれぞれ卒業論文の課題を発表した。教員からの質問にスムーズに答えられない場面も見受けられたが、課題をしっかりと発表することができた。1 月の卒業論文発表会に向けて、引き続きデータ収集、分析等を行う。



○伐倒練習機を利用した実習を開始(6/19)

昨年度末に導入した伐倒練習機を用いて、林業科 2 年生を対象に立木伐倒実習を本格的に開始した。伐倒練習機は足場の傾斜角や材の大きさなど自由に変えることができ、学生の技量に応じた条件設定により繰り返し練習することが可能な装置であり、今後、伐倒技術習得に向け、活用していく。



○ハーベスタシミュレーター体験研修会の開催(6/23、24)

林業科学生と県内行政担当者を対象に、立木の伐倒・造材作業を行う高性能林業機械「ハーベスタ」のシミュレーター体験研修会を行った。シミュレーターは 2 本のレバーと複数のボタンを操作し、連動したモニターで現実さながらの作業体験が可能であり、参加者はゲーム感覚で楽しみながら操作を学ぶことができた。

○「就農ガイダンス」で、地域再生協や関係機関と情報交換(6/26)

就農を希望する学生(47 名)が、就農に向けた具体的なアドバイスを受けたり、地域の後継者支援制度などについて学んだ。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。